

古代学学術研究センター・研究会  
**遷都から見る日本史 2**

日時： 9月29日（水）11:00～13:00

会場： 奈良女子大学コラボレーションセンター  
3階 Z306 講義室 本部管理棟奥（東側）

報告： 中世成立期の「帝都」観と福原遷都

森 由紀恵（日本学術振興会特別研究員）

遷都をめぐる研究会。今回は本学 21 世紀 COE プログラム“古代日本形成の特質解明の研究教育拠点”でも研究員をされていた森由紀恵さんに、以下のような観点からご報告をいただきます。

福原遷都は、新王朝を樹立したと評される平氏の政権構想の具現化として積極的な評価がなされる一方で、遷都の歴史的意味については平安京遷都の研究になぞらえて説明される事が多く、当該期の「帝都」観をふまえた評価は不明確である。

本報告では、中世成立期における帝都平安京をめぐる言説について確認し、「福原遷都」の歴史的意味について再検討したい。

**お昼を挟んだ変則的な時間帯ですが、ご参加をお待ちしています！  
なお、事前の申し込みは不要です**

問い合わせ先：奈良女子大学 舘野和己研究室  
(0742-20-3307)